

(新) 国土生態系ネットワーク形成推進費

49百万円(0百万円)

自然環境局自然環境計画課

1. 事業の概要

生物多様性を保全し、生態系を健全かつ安定的に存続させるためには、生物種の生態特性に応じて森林や水系など生息・生育空間のつながりが確保された生態系ネットワークを形成することが必要である。

しかし、森林の減少や分断により、希少猛禽類のイヌワシのように行動圏が広範囲におよぶ野生生物においては、生息に適した環境の分断・孤立化が進む結果、地域の生態系の縮小や種内の遺伝的多様性の低下により地域個体群の絶滅が危惧されている。また、里地里山では過疎化や農林業の停滞により自然の荒廃が進んでいることや、地方や都市郊外等では今後の人口減少により土地利用に余裕が生じることが想定できることから、効率的に自然共生型の国土利用へ誘導していくことが求められる。

そこで、自然性・希少性・多様性の観点から自然環境の量、配置、質の目標水準を明らかにし、全国・広域レベルでの生態系ネットワークのゾーニングを図ると共に、その形成のための保全・再生・創出すべき優先地域の明確化を図る。それを基に、今後各省庁と連携した重点的な措置を推進することにより、国土の自然環境等の質的向上を図る。

2. 事業計画

事業内容	H18年度	H19年度	H20年度
(1)基礎データの収集・解析			
自然環境・社会環境に係るデータ収集・解析・評価			
目標設定、指標種の設定			
(2)生態系ネットワーク形成のゾーニング			
(3)生態系ネットワーク形成のための保全・再生・創出 優先地域の設定			

3. 施策の効果

全国及び広域レベルのゾーニングに基づく優先地域から重点的に生態系ネットワークの形成を推進し、健全な生態系の保全と回復を図る。

新・生物多様性国家戦略の見直し(第3次国家戦略の策定)への反映。

生態系ネットワークの形成

生態系ネットワークの分断・劣化

- ・地域個体群の孤立化
- ・遺伝的多様性の劣化
- ・地域の生態系の縮小 等

質の高い生態系ネットワークの構築が必要

生物多様性の保全・回復

各空間レベル(全国、広域地方、都道府県、市町村、地区)でのネットワークの形成が必要

全国・広域レベルの生態系ネットワークの形成

重要生態系の抽出

人間活動等による自然環境の損失状況

既存保護区等の指定状況

分析

保全・再生・創出すべき優先地域の明確化

各省庁連携した施策・事業の重点的な実施の推進

マクロスケール ↔ ミクロスケール
整合



全国、広域レベル 都道府県レベル 市町村レベル

